

善 と 悪

究極のコミック・アクション聖書

マイケル・パール

「善と悪」®を読むことで聖書を読むきっかけとなれば、そして聖書に関心を持つことにつながれば幸いです。是非、読者が毎日聖書を読む習慣を作り、内容の意味を教えてください。どのように神様にお祈りください。

著作権 © 2008, 2016 マイケルとデビー・パール。無断複製禁止。

本書は著作権上の保護を受けています。本書の一部または全部について(ソフトウェアおよびプログラムを含む)、著者から文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製・複製(コピー、スキャン、デジタル化等)することは禁じられています。但し、批評記事やレビューにおける短い抜粋引用は例外とする。詳しい情報は(GoodAndEvil@nogreaterjoy.org)までメールにてご連絡をください。(英語のみ)

『「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書』の著作権は以下の者が保有する。

No Greater Joy Ministries, Inc.

1000 Pearl Road

Pleasantville, TN 37033-1796 USA

聖書の引用:

聖書 新改訳<第三版> ©1970,1978,2003 新日本聖書刊行会

Print ISBN: 978-1-61644-086-2

1. 聖書 2. 旧約聖書 3. 新約聖書 4. イエス様 5. 宗教

6. キリスト教 7. 救い 8. グラフィックノベル

I.パール・マイケル II. 「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書

『「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書』は、販売促進活動、贈答用、ファンドレイジング、ブッククラブ、教会における教育目的、刑務所伝道、学校や大学での教育等の目的で使う場合に限り特別な割引価格で購入できます。本書に関する権利やライセンス契約書がございます。詳しい情報は(GoodAndEvil@nogreaterjoy.org)までメールにてご連絡をください。(英語のみ)

もくじ

物語

第1章	はじまり.....	1
第2章	アブラハム	21
第3章	モーセ.....	36
第4章	約束の地へ.....	65
第5章	王国	95
第6章	エリヤ	114
第7章	キリストに関する預言.....	142
第8章	新しい契約	158
第9章	初期の伝道.....	178
第10章	奇跡と例え話	209
第11章	過越祭とキリストの受難.....	242
第12章	復活と初期教会	272
第13章	全世界に向けて	300

聖書とは? 322

No Greater Joy Ministries, Inc. について 323

クレジット

ライター:マイケル・パール

イラストレーター:ダニー・ブラナディ

カラリスト:クリント・ケアリー

日本語版翻訳に関わってくれた全ての人に感謝申し上げます。

『「善と悪」® 究極のコミック・アクション聖書』アクション聖書は老若男女を問わず、人が聖書に関心を持ってもらうためのコミックです。セリフの大部分は聖書からの直接の引用ではないため、ページの下の方にある聖書箇所を参照することをオススメします。

はじめに

現代の宣教ミッションにおける「Marvel」

2000年を迎える頃、伝道者・作家であるマイケル・パールは、福音を述べ伝えるための新たなビジョンが与えられました。マイケルは様々な言語の話者へのコミュニケーションのため、また読解力が低い読者層のために「グラフィック・ノベル(コミック)」という形式でキリストの福音を広めたいと願っていました。

マイケルと妻のデビーは40年間に渡り多くの宣教ミッションをサポートした経験があったにも関わらず、娘がパプアニューギニアの辺境の山の未開民族クンボイに伝道をはじめた時に、異文化コミュニケーションの難しさという壁に改めてぶつかりました。クンボイ族に伝道するには、明確かつ分かりやすい形で聖書の物語を描いた絵などの教材が必要でしたが、当時存在したのはクオリティの低い絵だけで、他は高額なために手に入れることができませんでした。そんな娘の悩みによって自分のビジョンを、さらに実現したくなったマイケル・パールは、かつてマーベル・コミックスで活躍した、優秀な才能の持ち主で経験豊富なイラストレーター、ダニー・ブラナディと手を組もうと決めました。

マイケルがダニーに連絡した時、神はもうすでにダニーの心の中で働いておられ、その数年前にダニーはクリスチャンになっていたのです。当時は描いていたコミックに不満を抱いていたので、マーベルを辞め、サンフランシスコで夜警備の仕事をしていました。ダニーは新しいスタイルでコミックを描いてみたらどうか、というマイケルの提案を受け、二人はグラフィック・ノベルのスタイルで創世記からヨハネの黙示録に至る、人間を罪から救ってくださる神の働きを描くコミック「善と悪」を一緒に制作することになりました。白黒の原本ができた後、イラストレーターのクリント・ケアリーに依頼し、聖書の場面に鮮やかなカラーリングが施されました。

本コミックでは聖書のよく知られている話(ダビデとゴリアテの話など)のいくつかは割愛されていますが、このコミックは歴史の年代順に沿って綴られており、旧約聖書のアブラハム・イサク・ヤコブの神についての真実、及び新約聖書の使徒の働きやイエス様が与えてくださる救いの必要性などをしっかりと描いています。2008年に初版が出版された時点から、「善と悪」は英語読者にとってエンターテインメントそして教材となり、本来の意図である異文化コミュニケーションにおいても優れた実績を積んできました。「善と悪」は、スペイン語、ウクライナ語、ラーオ語、タイ語、ミャオ語、ビルマ語、セブアノ語、カレン語、ワ語など、現在54ヶ国語以上の言語に翻訳されています。全13話のアニメ版も製作されています。また本書は通常はキリストの福音に閉ざされた場所にも迎え入れられています。魅力に満ちた迫力あるこのコミックはヒンズー教徒やイスラム教徒の関心も引き、世界の果ての国々の本屋にも置いてあります。


2015年、そんな作品を創りたいというマイケル・パールの夢がきっかけで、21世紀のテクノロジーを活用した「善と悪」のコミック版・DVD版とその他の福音を伝えるための作品をより多くの人の手に届けるための組織「Good and Evil International」が設立されました。「善と悪」が世に出たことで、現代の宣教ミッションの在り方は変化しました。読者はこのコミック・アクション聖書の旅に出ると、そのストーリーに「marvel」(不思議に思って驚く)することでしょう。

コミック・アクション聖書「善と悪」のそれぞれの物語の原典は、聖書に記載されています。コミック版の物語に対応する聖書の箇所(書簡名・章・節)は各ページの下部に明記されているので、必要に応じて参照し、聖書自体から物語を読んでみて下さい。




第1章

はじまり



この物語は何千年も前の古い本に書かれている。今から話すことは、信じがたい事柄もあるかもしれないが、すべて事実なのだ。


まさに事実は小説より奇なり…なのである。



全てが始まる前、最初の人類が創造されるより以前、地球や太陽や星たち、光や時間というものでさえもまだ造られていないころ、すでに神は存在されていた。

起源の始まりというものを超えたところに神は存在されていたが、神は孤独ではなかった。限りのある人間とは違い、神は三位一体として存在されている。それぞれの御各位が別格で同等、それでいて、自然界においても権力においても行動や意思においても、唯一のお方として永遠に存在するのである。神は慈愛に満ちた三位一体のご自身と語り合っておられた。

とは言え、神はご自身の命の歩みを分かち合うことの出来る隣人や友が欲しかった。



聖書*は、王座に座しておられる神を永遠にあがめ賛美する、多くの天の御使いたちの存在についても語っている。その中の一人であるルシファーは、天の軍勢の三分之一をそそのかして反逆を企てた。神は彼らを天国から追放し、ルシファーの名前はサタンとなった。

しかし、これは彼らの物語ではない。

人類とともに在って働かれる神の物語なのである。

初めに、神が天と地を創造した。
地は茫漠として何もなく、
神の霊が水の上を動いていた。

突然、神は闇に向かって
仰せられた…。

光、あれ。



現代の多くの人が天地創造の在り方について思う形と違い、創り主なるお方は、「進化」というのを用いることはなさらなかった。神は、単に言葉を発することによって全てのものを造られたのだ。一日を二十四時間とした六日間を通して、神は植物や動物達を地上に繁栄させられた。



六日目に、神は土地のちりから新しい生き物を創造された。



神は土地のちりから人を造られた。そしてその土の器に、神ご自身の命の息吹を吹き込まれた。人はその他の動物たちとは異なり、生きる魂の霊を授かった。人は神の似姿に創造された。

神はこの新しい創造物を人類とし、アダムと名付けた。



神はお造りになったすべてのものを見られ、「非常に良い。」と仰せられた。



神は毎日アダムと語られ、日々は素晴らしいものだった。アダムがそれぞれに名前を付けることが出来るようにと、神は全ての動物達をアダムのもとへ連れてこられた。目の前を行く動物達を眺めながら、アダムは自分に彼らのようにパートナーがいないことに気がついた。



そこで神は仰せられた。

わたしはアダムのために、彼にふさわしい助け手を作ろう。

神はアダムを深い眠りへと導き、彼の脇腹からあばら骨を取ると、その骨から彼の愛する助け手となる美しい女を創造された。



神はアダムを目覚めさせ、その女をアダムのもとに連れてこられた。神は二人に、子供を持ち、地上を満たすようにと告げられた。アダムは新しく創造されたその美しい妻を、エバと名付けた。

彼らは二人とも裸であった。しかし、子供のようにそのことを意識していなかった。

私の骨からの骨、私の肉からの肉。

その様子を邪悪なサタンも見届けていた。



彼らは楽園で幸せに暮らしていた。罪もなく、飢えもなく、厳しい寒さや暑さもなかった。

神は木々を指して語られた。

あなたは、楽園のどの木からも思いのまま食べてよい。しかしこの善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。

サタンは神を憎んでいたの、神のなされている
全てを壊したかった。そこで、彼はエバに近づく
ために、美しく造られた生き物のひとつの身体に
入り込むと、その口を通して彼女に話しかけた。

神はおまえに、
この楽園のどんな木か
らも食べてはならない
と言ったのかい？

神様は楽園の木の
実を食べてもよいとおっ
しゃいました。でも園の中央に
ある一本の木の実は食べてはな
らない、と。それに触れると
死んでしまうと仰せに
なりました。

ふん、死ぬものか！
その木の実を食べたら
おまえも我々のような
知恵が授かって神々のよ
うになれる。善悪の知識
が得られるんだ。

エバは善悪というも
のを知らなかった。

エバは神に逆らい、
その実を取って食べた。

エバは実をもぎ取ると、
夫にも食べるよう勧めた。

そそのかされたと気づいた時
には時すでに遅し。善悪の区別
を知るところか、彼女は悪に
支配されてしまった。

ほら、私は食
べたのに死んでいないわ。
あなたも食べると、き
つと賢者のよう
になれるわ。

彼らは、自分たちが
何一つ身にまわって
いないことを恥じた。

はっはっはっ、
お前たちは殺される
ぞ。奴がわが身に
した
ことを見る。

私
た
ち
は
何
と
い
う
こ
と
を!

我々は神に背
いてしまった。
すぐに、神は
やって来られる。
とにかく、身に何か
をまとうのだ。

アダム、
どこだ?

私はあなた
のお声を聞きま
した。私は裸な
ので、恐れて、
隠れました。

あなたが裸で
あるのを、だれがあなた
に教えたのか。あなたは、
食べてはならない、
と命じておいた木か
ら食べたのか。

あなたが私の
そばに置かれたこの
女が、そうしると
言ったんです。



シューッ

蛇が私を惑わしたの
です。食べても死なないと。
食べたらあなたのようなになれる
のだと。でもそうではなかった。
私はなんと恐れ多いことをして
しまったのでしょうか。

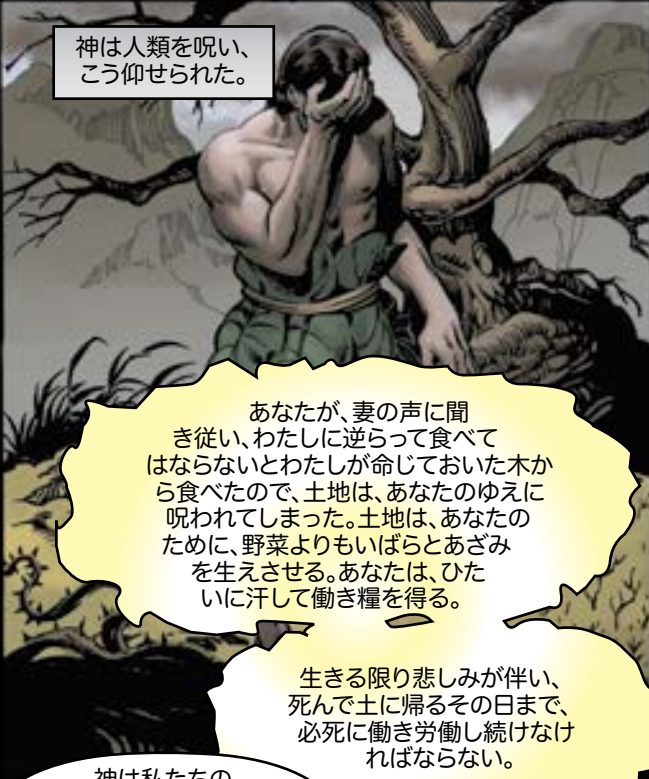
神は、その蛇
を呪ってこう
仰せられた。

おまえがこんな事
をしたので、おまえ
は一生腹ばいで歩き、
ちりを食べなければなら
ない。わたしは、おまえ
の子孫と女の子孫と
の間に敵意を置く。

彼は、おまえ
の頭を踏み碎き、
おまえは、彼のかか
とにかみつく。

ここに、将来起こる戦いに向けて
の約束がある。時が来たら、女の
子孫がサタンを倒す、という約束
だ。彼が人類をその罪と死の呪い
から救い出し、神の御元へと
連れ帰ってくださるという約束だ。

神はルシファーとその墮落した天使達を一瞬
のうちにその場で滅ぼすこともお出来になら
れた。しかしあえてそうせず、人類の試みに
彼らを用いるために、しばらくの間生かして
おくことにしたのだ。はたして人間達は、神
に従うことを選ぶのか。もしくは、サタンに
従い、神に反抗することを選ぶのだろうか。




神は人類を呪い、
こう仰せられた。

あなたが、妻の声に聞き従い、わたしに逆らって食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえに呪われてしまった。土地は、あなたのために、野菜よりもいばらとあざみを生えさせる。あなたは、ひたいに汗して働き糧を得る。

生きる限り悲しみが伴い、死んで土に帰るその日まで、必死に働き労働し続けなければならない。


神は私たちの命をお取りにならなかった！私たちはまだ生きている！

私たちの代わりに動物が殺されたのね。




神が仰せられたように、アダムとエバは死ななければならなかった。しかし神は、二人の代わりに動物をほふられ、その皮を用いて二人のために衣を作り、彼らに着せてくださった。

アダムとエバは罪人となった。神は二人が命の木の実をとって食べ、罪人として永遠に生き続けることがないように、彼らをその美しい楽園から追放された。



アダムとエバは、罪のない動物達の命と引き換えに、この日生き残った。しかし、死の宣告は下っていたので、いずれは彼らも死ぬ運命にあった。死は、罪の報酬なのである。



神は、誰も命の木に近づくことがないようにと、楽園の入り口にケルビムと呼ばれる特別な天使を配置された。後に、楽園は破壊され命の木も地上から取り去られた。いつの日か、それらは再び地上に戻されるのだが、その前には再び地上に戻るのだが、その前にこの話の続きを進めなければならない。

アダムとエバは多くの子供に恵まれた。しばらくして、彼らの息子達と娘達は互いに結ばれ、それぞれに子供が授かっていった。



最初に人類が造られたころ、近親交配による遺伝子の突然変異がもたらす欠陥などはまだ発生していなかった。しかし、後にそれらが問題になってきたので、神は近親者同士による結婚はするべきではない、と命じられた。

あるとき、二人の息子達が神を礼拝した。父親であるアダムから、楽園で神が、彼らの身代わりとして動物達をほふられた話を聞いていたアベルは、信仰によって自分の動物の命を神にささげた。

おお、神よ、私は罪深き人間です。この子羊を私の命と引き換えにささげます。

アダムとエバの長男であるカインは野菜や果物を育て、次男のアベルは動物を飼いで育てた。はたしてこの二人のうちのどちらかが、サタンを打ち負かす約束の息子となるのだろうか？



カインとアベルは、神や楽園で起こった出来事について知っていた。しかし神はもはや、かつてのように人間と共に歩んだり語らうことはなさらなかった。アダムとその子孫は、アダムの犯した不従順の罪によって、神から引き離されてしまったのだ。神のいない人生はとても辛いものだった。

カインは、自分の持っている最上のものを神にささげた。しかしそれは血の犠牲を伴うものではなかった。カインの罪を神は喜ばれていないということを、彼は理解していなかった。



神よ、どうか私の出来る限りの最高の供え物をお納めください。

彼らのうちのどちらかが、約束された救い主となるのだろうか？



カイン
それらはいない。

神はカインのささげ物には目を留められなかった。それらは血の犠牲を伴う物ではなかった。



神はアベルがささげた供物を喜び、無実の子羊から流れた血を見て神はアベルの罪を取り去った。

神はカインに仰せられた。「あなたが正しくおこなうのであれば、わたしは受け入れて喜び、あなたをあなたの弟、アベルの上に立つ者とし、アベルをあなたに従属させよう。」



いったい何様のつもりだ？俺の育てた果実や野菜は、あんな子羊よりよほど価値がある。なんでお前なんかそんなに特別なんだ？

兄さん、血の犠牲をささげるための時間はまだあるよ。



もうお前なんかにかすもんか！

ドストツ

アベルは死に、カインは殺人の罪を隠そうとした。

しかしカインは、自分の犯した悪事を神から隠すことはできなかった。神はすべてを見ておられ、すべてをご存知なのだ。

カイン、
あなたの弟
アベルは、どこ
にいるの
か？

知りません。
私は弟の番人なの
でしょう。


あなたの弟の
血がまだ土地に残っ
ている。おまえの悪事
を表しているのだ。

神はすべてをご存知である。すべての人を見ておられる。神の御前に隠し事はできない。神はカインがアベルにしたことを見ておられた。神はカインを呪われ、カインは妻を連れて荒野へ逃げ去った。彼の罪は彼自身に深い悲しみと苦痛をもたらした。

彼は約束された救い主
にはなれなかった。
彼は、自らが救われなくて
はならない立場となった。

神が仰せられた救い主の約束はどうなったのか？アダムとエバのもとに再び男の子が生まれ、セツと名付けられた。その後、彼らは多くの息子、娘たちを生んだ。

カインに殺された息子の代わりに神様はもう一人の男の子を授けてくださったわ。



セツも成長して息子をもうけ、その子もやがて息子をもった。こうして多くの子供達が生まれたが、罪の呪いを取り除き、死に打ち勝つ者となる存在はまだ現れていなかった。地上には多くの都市や村、農地ができた。

新しい世代が増えるに伴い、罪もまた増大していった。人々は性的な罪や暴力的な罪を犯した。全ての思想が罪に染まっており、誰も義と認められる者はいなかった。アダムはひとつの罪を犯した。そして人々は今、多くの罪を重ねていた。

神は仰せられた。「わたしはこの地に人を造ったことを悔やむ。わたしはわたしが創造したすべてのものを地の表から消し去ろう。」
神の御国を忌み嫌うサタンは、神がすべてを滅ぼすことを喜ぶにちがいない。

9世代(1400年)が巡る中で、地上には罪が充満していた。

人は、自分の同胞を奴隷とするようになった。

神を愛し、神に従う家族を、神はいつかもつことができるのだろうか。

紀元前 約2500年

しかし、ノアという男は、ただひとり正義を信じて常に正しいことをおこなっていた。神は恵みのうちに、ノアとその家族だけは滅ぼさずにしようと決断された。

ノア、わたしはこの地上で大洪水を起こす。いのちあるものはすべて死ぬ。あなたとあなたの家族と動物達を守るために、大きな箱舟を造りなさい。

地上の全ての生き物の中からオスとメス、一つがいつ、食べることが許されている生き物の中から七つがいつを取り、ともに箱舟に乗せなさい。箱舟の造り方や洪水への備えについては、わたしがあなたに教える。

ノアこそが、サタン戦略を打ち砕く約束の者なのであるか。はたして彼は神に従うだろうか？それとも、彼もまた墮落してしまうのだろうか？

神は、地上に生息する生き物一つがいつと、必要な食料を積み込むためには、どれほどの大きい箱舟を造る必要があるのか、ノアに説明された。

洪水によって人々が滅びるとい
うことに、ノアは悲しみを覚え
た。そこで、多くの時間を費や
して、人々にその罪を悔い改め
るよう警告を与え続けた。

もう一度言う。神は大
きな洪水を起こされ、地上
を滅ぼされる。私の言葉を
信じて、共に箱舟に乗
るうではないか。

罪が原因なのだ。
罪を犯すのを辞め、
正義と愛をもって隣
人に接するんだ。

バカ
な奴め。

愛に満ちた
神がなぜその子
供達を滅ぼすつ
ていうんだい？

120年の後、箱舟は完
成した。神は世界中から
動物達をノアのもとへと
連れてこられた。

見てごらんよ。
誰も導いていない
のに動物達が自ら
やってくる。

なんとも
不思議な光景だね。
こんなにも多くの動物達
が存在していたとは。ノア
が言うように、神が洪水
を起こす、というのは
本当のことなん
だろうか。

まるで誰かの
呼びかけに
応えている
かのようだ。



これでもうスペースはいっぱいだな。

これらが最後です。

ノア、時が来た。あなたの家族や動物達と共に箱舟に入りなさい。罪を悔い改めない者達には、もうあとわずかしが時間が残されていない。



神は箱舟の扉を閉ざされた。七日間は何事もなく過ぎた。

はっはっは、愚か者どもめが！海から何キロも離れたこんな乾いた平原にどでかい舟など造りやがって。しかもその中に動物達と閉じこもってんだぞ。

ちえ、もうライオンに食われちまってるんじゃないか。

もう一週間も閉じこもってるぞ。

しかし七日目に、雨が降りだし、さらには地中深くに貯まっていた水が地表に吹き出してきた。

こんなの、見たことがない。船の中に閉じこもった狂った奴らの言う通り、神が罪の報いに我々を殺そうとしているのだろうか？

バカなことを言うな。神は愛そのものだ。それに、ひとりの人間が正しくて他の宗教家のお偉いさん達が皆間違っている、なんてことがあるもんか。

この時まで、地上に雨が降ったことなど一度もなかった。天候は常に良く、霧が立ちこめることで地は潤されていた。雨というものを、誰ひとり見たことも聞いたこともなかったのである。雨が降るだろう、ということ、例えノアが信じなかったとしても不思議ではない。水が空から降ってくるだなんて、と人々はノアを気がふれた者として扱った。しかしノアは、ただ神が仰せられたことを信じたのである。



ノアの言う事を信じるべきだった。私はなんて愚かだったのだろう。

神様、赤ちゃんを助けて！

紀元前 約2348年

この時になってはじめて、人々はノアが真実を語っていたことに気がついた。しかし時はすでに遅すぎた。

雨はその後、四十日四十夜降り続き、地上のすべての山々を覆った。ノアと共に箱舟に乗り込んだもの以外、全ての命ある生き物は死に絶えた。再びノア達が箱舟から出られるまで、一年以上もの月日がかかった。

水が引いて、この箱舟から出られるようになると嬉しいのだが。

ノアは、一羽の鳩を放った。やがてその鳩は、くちばしに若枝をくわえて戻ってきた。すでに地上のどこかで木々が育っている証だ。後に、ノアが再び鳩を放すと、その鳩はもはや戻ってはこなかった。それは、鳩がどこかに住む場所を見つけたことを意味していた。

まもなく箱舟は、アララテ山の上にとどまった。すべての生き物は箱舟の中から出てきた。罪が一掃された新しい世界へと。

ノアは祭壇を築き、神への全焼のいけにえをささげた。ノアは正しい人であったが、彼の心にも罪は存在した。血の犠牲のささげものは、罪あるノアとその家族の命と引き換えに、神にささげられたのだ。

わたしは空に、虹をかける。わたしはもはや地上を洪水によって滅ぼすようなことはしない。虹はその契約のしるしだ。生めよ。増えよ。地に満ちよ。

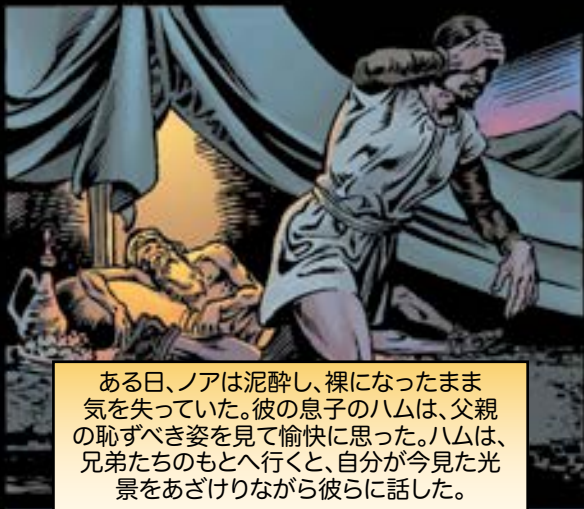
生き物すべては、人間を恐れるようにしよう。生きて動いているものは皆、あなたがたの食物である。野菜やハーブのように。しかしその血までも食してはならない。また、人を殺してはならない。

もし人を殺すならば、その者も同じように誰かに殺される。人の血を流す者は、人によって、血を流される。命はその血の中にあるのだ。

本来ならばノアとその家も、罪のために洪水によって滅ぼされるべき存在であった。しかし、神の恵みによって彼らは生かされた。ほふられた動物達はそのことの象徴である。かつて神が楽園で、アダムとエバの身代わりとして生き物をほふり、その皮で彼らの身体を覆ったように。

ノアは農夫となり、ぶどうを栽培した。四世帯のみではじまる新しい世界はさみしいものだったが、息子夫婦たちはそれぞれ子供を授かっていった。

ノアは、果実を容器に入れて数週間おいておくと、愉快的気分させてくれるアルコール飲料になることを発見した。ノアはこの飲み物がたいそう気に入り、時には働けなくなってしまうほどだった。意識を失うまで飲みつづれることもあり、酔って神が喜ばれないような行動をとるようになった。

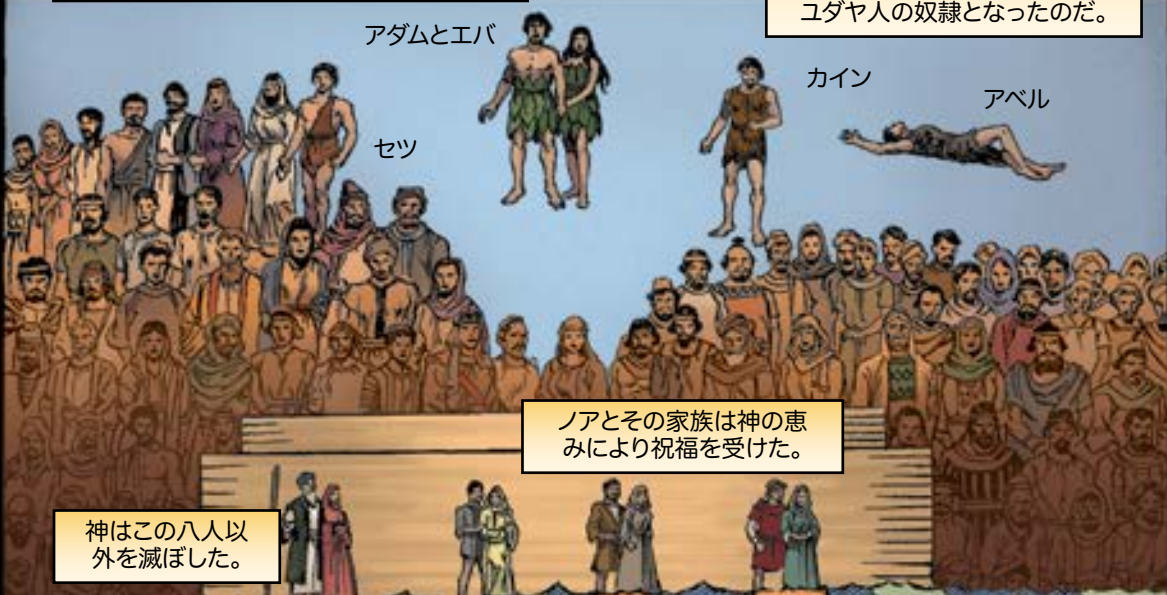


ノアが目覚めた時に、兄弟はハムがしたことをノアに告げた。

おまえの息子、カナンとその子孫は、おまえの兄弟のセムの子孫に仕えるしもべとなる。

ある日、ノアは泥酔し、裸になったまま気を失っていた。彼の息子のハムは、父親の恥ずべき姿を見て愉快に思った。ハムは、兄弟たちのもとへ行くと、自分が今見た光景をあざけりながら彼らに話した。

何年もたった後、この預言は真実となった。カナン人はパレスチナを占領して住み着いたが、やがてユダヤ人の奴隷となったのだ。



ノアとその家族は神の恵みにより祝福を受けた。

神はこの八人以外を滅ぼした。



後に、ヤフェテは西や北へ移住し、住みついた。

セムは東へ向かい、アジア方面に住みついた。

ハムは南へ向かい、アフリカや南アジア地方に移住して住みついた。彼の子孫であるカナナは、今と言うパレスチナと呼ばれる一帯に落ち着いた。

そうして世界には人々が増えていった。

紀元前 約2247年

ノアの息子、ハムに、クシュという息子が生まれ、クシュからニムロデが生まれた。ニムロデは力ある獵師となり、彼の名は世界中に知れ渡った。彼は神に従うことを拒み、自ら偽りの宗教をバビロンの地に立て上げた。

バビロンの人々は、地に広がり子孫をもうけよ、という神の命令に従うことを拒んだ。反対に彼らは、町の中心に集まると、そこに高くて立派な礼拝用の塔を建てた。

地に広がるように、という神の言葉にあえて背いた人々に対して、神はお怒りになられた。そこで神は、彼らが互いに異なった言語を話すようにされた。

しかしその塔は、創り主である神を拝むためのものではなかった。

Can you guys understand what I'm saying?

אני לא יכול להבין אתכם
אתם לא יכולים להבין אותי

もはや労働者達は互いに意思疎通をはかることができなくなり、仕事を続けることが出来なくなっていました。

同じ言語を話す者同士が集まり、それぞれの道をたどり始めた。ある者達は遠方の地へ向かい、ある者達は船で島を目指した。また、寒い北国へ向かう者達や暑い砂漠地帯へ向かう者達もいた。こうして人々は各地へ広がっていき、神のご命令は果たされた。

地上に人間が増え始めると、再び罪が増大していった。人々は偶像を礼拝し、生ける神を忘れていった。